

令和七年度合唱祭

縁

く種から蕾、そして、花へく



令和七年十月二十四日(金)

市民会館いわつき

「花のように」華やかで豊かな響きを

校長 鈴木 純

今年度は、空調工事の関係で体育館から市民会館いわつきの大ホールに演奏会場を移し、盛大に合唱祭が開催されます。せっかくの機会ですから、ぜひ、ホールでの演奏の心地よさを味わってください。

さて、校舎のここかしこから美しい歌声が響き渡り、指揮者・伴奏者・パートリーダーがそれぞれの役割を十分に發揮して、よりまとまりのある歌声になるよう毎回課題を見つけ、さらによくなるようパートの仲間とともに話し合い、全体の音楽づくりにつなげている様子が見られました。みなさんの音楽に向かう姿勢や感性はとてもすばらしいです。

ところで、各クラスとも賞を目指して、一生懸命に頑張ってきたと思いますが、今一度自分たちの合唱をチエックしてみましよう。

一、作詞者の意図を理解するために、歌詞を何度も読み、歌詞に込められたメッセージにふさわしい発音で、言葉のまとまりを考えて歌っている。

二、クラス全員が、自分のできるだけの声（大きな声ではなく楽曲に必要な声）を出し、互いに音色をそろえ、他のパートと合わせたときの豊かな響きを感じながら歌っている。

三、楽譜にとらめつこしながら、作曲者はどのような意図で旋律や記号を付けているのか考え、それを声にして表現している。

四、指揮を見て、伴奏の音や他のパートとの関連を意識しながら歌っている。

いかがですか？今からでもこれらのことを意識して歌うだけでも、クラスのサウンドが変わりますよ。要は「どのように表現したか」に尽きます。みなさん思いを込めて歌った合唱は、聴き手に素晴らしいひと時と感動をあたえてくれるでしょう。今日は、この日までに、つくり上げてきた過程を思い浮かべながら、中学生ならではののみずみずしい感性を味わいながら聴きたいと思います。

結びに、保護者のみなさま、地域のみなさま、ご多忙の折、本校の合唱祭にお越しくださいます、誠にありがとうございます。お時間の許す限りお楽しみいただければ幸いです。



実行委員長の言葉

本日は私たちの合唱を見に来てくださりありがとうございます。

今年の合唱祭のテーマは、「緑／＼種から蕾、そして花へ」です。今年、私たちが歌う曲は、ご来場いただいた皆様にとっても、中学生の時に歌った思い出の曲があるかもしれません。その曲を私たちが歌うことで、過去から今まで繋がれてきた縁を私たちも繋いでいきたいという思いを込めてテーマを考えました。

一年生の合唱曲「種」は、明日に向けて精一杯幸せを求め、歩みを進めていく曲です。二年生の合唱曲「14 fourteen」はいつか本当の自分自身に出会えることを信じて、夢の蕾をかかえて走り出していく曲です。そして、三年生の合唱曲「春」は未来への期待とともに、喜び、悲しみ、あこがれ、怒りなどのあふれる様々な気持ちへのもどかしさを歌った曲です。この三学年に渡る合唱は、私たちの成長の物語そのものです。

私たちそれぞれに与えられた幸せの“種”に、夢を与え、“蕾”にし、ひとりひとりの自分らしい“花”を咲かせたい。そして、今日の合唱を通して、これまでの成長に関わってくれたすべての方々に感謝の気持ちと縁を結び、未来へ繋げたい。そんな想いを胸に、私たちの歌声を会場いっぱいに響かせます。どうぞお楽しみください。

（開会式）

開会の言葉

校長先生のお話

実行委員長あいさつ

諸注意



全体合唱 「明日の空へ」

山崎 朋子 作詞・作曲

この曲は、山崎朋子さんが、子どもたちに夢をもつて生きてほしいと思い、描いた曲です。歌詞には、困難な状況にあり、不安を抱きながらも、未来へ向かって進んで行こうという思いが込められています。私たちも大好きな曲です。川中全体で心をつなげて歌う「明日の空へ」、どうぞお楽しみください。

一年 「種」 悠道 作詞 山崎 朋子 作曲

この曲は、家族の方がいつも私たちを育て、支えてくださっているように、小さな種をまき、その種が成長していくという命の大切さ、強さを大きく表現しています。「小さな種から育つのは幸せでした。」という言葉にあるように、家族の方に私たちの歌で感謝を届けられるようにがんばります。

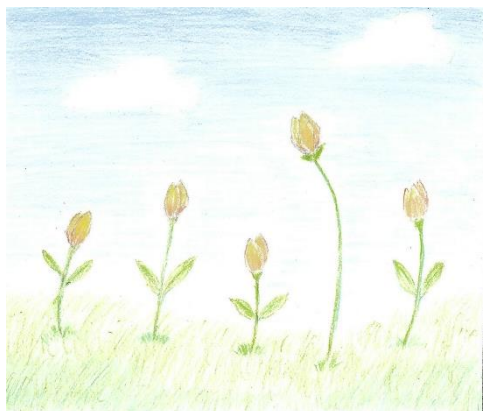


一年二組 「マイ バラード」 松井 孝夫 作詞・作曲

この曲は、世界のみんなが歌うことで平和になり、そして愛が深まり、世界のつながりが深まるということを表しています。歌詞に「届け愛のメッセージ」という言葉があります。私たちの愛がこもった「マイ バラード」をお届けします。これまでの練習の成果をどうぞご覧ください。

一年一組 「行き先」 長井 理佳 作詞 貫輪 久美子 作曲

この曲は、とてもテンポが良く、弾むようなリズムミカルな曲です。全体的に歌詞が前向きで、特にその中でも、2番の「今、未来へ」という部分が繰り返され、音が少しずつ高くなっていくので、未来へ向かっていけるような気持ちになれます。ぜひ、注目して聴いてください。



二年 「14 -fourteen-」 三割田健介 作詞・作曲

この曲は、三割田健介さんの「14歳という不安定な時期でも、自分を信じて前に進んでほしい」という想いが込められています。後半の「ありのままの自分を抱きしめて歌おう」という部分では、私たち一人ひとりの想いをのせて、力強く歌えるように、一生懸命練習を重ねてきました。どうぞお楽しみください。

二年一組 「時の旅人」 深田 じゅんこ 作詞 橋本 祥路 作曲

この曲は、時の流れの中で、もう戻れない過去に対する懐かしさや思い出、今までの出来事や人物に対する感情、未来に対する希望の物語を描いた曲です。ストーリーを表現するため、工夫しながら一生懸命練習してきました。二年一組がつくる「時の旅人」の世界をどうぞお楽しみください。

二年二組 「瑠璃色の地球」 松本 隆 作詞 平井 夏美 作曲 田中 達也 編曲

この曲は、松田聖子さんが1986年のアルバムに収録した楽曲で、地球への愛やどんなに困難な状況で絶対に希望を失わないという想いが込められています。後半の「朝日が水平線から光の矢を放ち」の部分で力強く歌えるようにたくさん練習してきました。みんなで心を一つにして歌います。どうぞお聴きください。

三年 「春に」

谷川 俊太郎 作詞 木下 牧子 作曲

この曲は、春の訪れとともにもどかしい気持ちや迷いが繰り返して歌われています。今、私たちも挑戦したい気持ちや喜び、戸惑いなど様々な感情が溢れています。そんな私たちの複雑な気持ちは、この曲の「この気持ちはなんだろう」という歌詞に重なります。歌っているときが一番輝くと言われる緑学年の合唱を、どうぞお楽しみください。

三年二組 「信じる」

谷川 俊太郎 作詞 松下 耕 作曲

この曲は、自己や他人世界を信じることを壮大な世界観で表現した曲です。私たち3年2組は感情豊かで、仲間想いのクラスです。皆これまで、互いに励まし合いながら、努力を重ねてきました。曲想が変わるところの歌い方や変化に注目して聴いてみてください。

三年一組 「未来」

谷川 俊太郎 作詞 高嶋 みどり 作曲

この曲は、未来は自分で創るものであり、自分次第でどんな未来にもできるという力強いメッセージが込められています。私たちは日々の練習を重ね、クラス一丸となり、この日のために一生懸命歌ってきました。この曲の歌詞どおり、未来に向かって竹竿が伸びていくように、一人ひとりがそれぞれの未来への希望を胸に、全力で歌います。どうぞお聴きください。

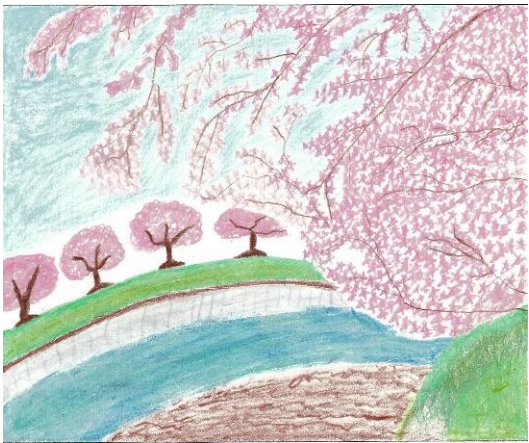
〽 閉会式 〽

講評

校長先生のお話

審査結果発表・表彰

最優秀クラス代表の言葉



全体合唱 「校歌」

中山 基礎 作詞 山岸 磨夫 作曲

閉会の言葉

